

新編日語第四冊



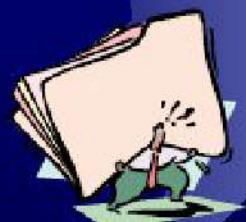
第18課

徐福渡海のナゾ (言葉と表現)



第18課のポイント

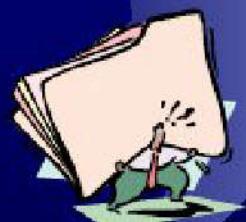
- ▶ ~にまで
- ▶ ~ところはない
- ▶ ~すえに
- ▶ ~めく
- ▶ ~は疑いない
- ▶ どれだけ~かわからない
- ▶ ~のみならず、~も
- ▶ ~ (た) ところ (が)
- ▶ ~見分けがつく
- ▶ 名詞+にとどまらず



1、～にまで

【意味】極端の例を表す。

- ▶わたしたちが夢にまでみていた日がやってきました。
- ▶子どもにまでばかにされている。
- ▶勉強だけではなく、私たちの生活にまで、いろいろ面倒を見てくれた。
- ▶一番いいお友達にまで裏切られてしまった。



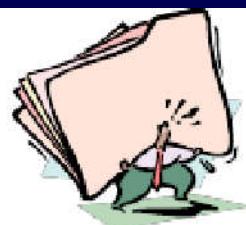
2、～ところはない

【意味】漢文の訓読で連体修飾語の「所」の打ち消し。
无所不...。

- ▶ 彼は物知りで、文学、歴史、政治、経済のことなど知らないところはない。
- ▶ 何も悪いことはやっていないから、人の目をはばかるところはないんです。
- ▶ 失敗は成功の母ですから、失敗を恐れるところはない。



3、～す



【意味】 いみ

「ある経過
とが多い。書

- ▶長時間の協
 - ▶よく考えた
 - ▶大型トラッ
 - ▶帰国すると
す。
 - ▶二人はさん

4、～めく



【意味】 「～らしくなる」 「～らしく見える」
「十分に～ではないが、～の感じがする」。

- ▶ 彼の作り物 めいた 笑いがきになった。
- ▶ どことなくナゾ めいた 女性がホールの入口に立っていた。
- ▶ 真由美はいつもなぞ めいた ことを言つては周りの人を困らる。
- ▶ 日ごとに春 めいて まいりました。その後お元気でいらっしゃいますか。





6、どれだけ～かわからない

【意味】 どんなに～か知れない。

- ▶ 少しでも子供にいい生活を送らせるために、彼女はどれだけ辛抱と苦労をしたかわからない。
- ▶ もし実現したらどれだけいいかわからない。
- ▶ まことに、どれだけか



7、

【接続】

【意味】

いる。

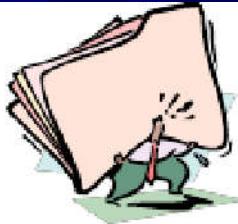
▶彼は本
て実践

▶若い人

▶戦火で

▶この不
削る必

▶私立大
られない。



用

け

を

け

8、～(た) ところ (が)

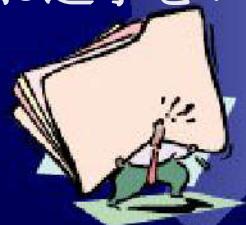
【接続】動作を表す動詞連用形につく。

【意味】後に続く事柄の成立や発見のきっかけを表す。前後に来る事柄には直接な因果関係はなく「～したら、たまたま／偶然そうであった」という関係である。

▶山川さんなら分かるだろうと思って聞いてみたところが、彼にも分からぬことだった。



- ▶山で採ってきたキノコが食べられるかどうか
食品研究所に問い合わせてみたところ、食べ
られないことが分かった。
- ▶留学について父に相談してみたところ、父は喜んで賛
成してくれた。
- ▶先生にお願いしたところ、さっそく承諾のお返事をい
ただきました。



九、～見分けがつく

【意味】見て区別することができる。

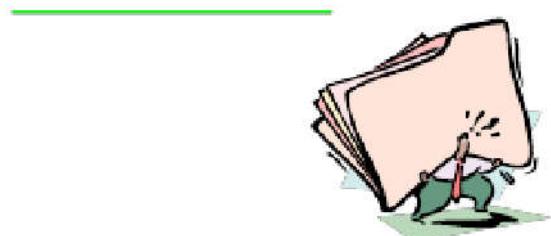
▶品質の見分けがつかないので、だまされたのだ。

▶人の皮
なつて

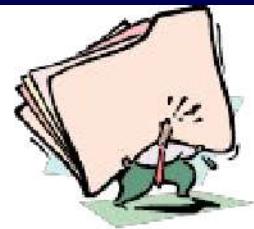
▶暗くて

▶子供で

に



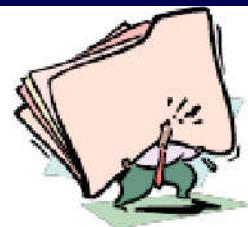
10、名詞+にと



【意味】ある事柄がへ
広い範囲に及ぶとい
(地域や時間などを
は収まらず、それた

- ▶ 大気汚染による被害
若者たちにまで広が
- ▶ 彼のテニスは単なる
今やプロ級の腕前で
- ▶ 田中教授の話は専門
分野にわたるので、いつもとても刺激的だ。





- ▶ その
いこ
- ▶ テレ
及ん
- ▶ 彼は
まで

